【11 月の香り】

「緑の牧場、いこいの水のほとり」



「主は私を緑の牧場に伏させ、

いこいの水のほとりに伴われます。」

詩編 23 編 2 節

今月の香りは、詩編 23 編に描かれる、羊飼いなる主の優しい導きと、御もとにある安らぎをイメージしてブレンドしました。

マンダリンの柔らかな甘さは、陽光に照らされた緑の牧場の温もりを、ホーウッドとラベンダーの穏やかな香りは、心と体を休ませる静かなひとときを思わせます。

ブラックスプルースと青森ヒバの清々しい木々の香りは、豊かな緑に包まれた自然の息吹を感じさせ、ベチバーの深く落ち着いた大地の香りが、全体を優しく支えています。

詩編 23 編には、羊飼いが羊を緑の牧場に伏させ、憩いの水のほとりへと導く姿が描かれています。

羊は、自分の力だけで安全な牧場や水辺を見つけることはできません。

羊飼いに守られ、導かれることによって、安心して身を横たえることができるのです。

私たちもまた、日々の生活の中で、さまざまな重荷や思い煩いを抱えることがあります。

しかし、主はそのような私たちを知り、御もとへと招き、憩いを与えてくださいます。

私たちが安らぐことができるのは、すべての問題が解決したからではなく、主が共にいてくださるからです。

この香りとともに、羊飼いなる主の慈しみを覚え、主の御もとで心静かに憩うひとときとなりますように。使用精油： マンダリン、ホーウッド、ラベンダー、ブラックスプルース、青森ヒバ、ベチバー